

2025年度（令和7年度）

定時社員総会

— 議案 —

2025年5月31日（土）

大阪公立大学（杉本キャンパス）・学術情報総合センター
10階大会議室

2025年度（令和7年度）

定時社員総会

- 1 講演会（14：00～14：50）
〈講師〉 橋爪紳也 大阪公立大学研究推進機構特別教授
大阪公立大学観光産業戦略研究所長
大阪府特別顧問／大阪市特別顧問
演題 「いのち輝く未来社会のデザイン
2025年からはじまる未来に向けて」
- 2 議案審議（15：00～16：30）
議案第1号 2024年度（令和6年度）活動報告承認の件…… 1頁
議案第2号 2024年度（令和6年度）決算報告承認の件…… 7頁
— 監査報告 —
議案第3号 2025年度（令和7年度）活動計画案承認の件…13頁
議案第4号 2025年度（令和7年度）
正味財産増減計画書予算案承認の件……………16頁
議案第5号 役員改選の件……………18頁
- 3 懇親会（16：45～18：00）
場所：大阪公立大学・学術情報総合センター 10階 研究者交流室

一般社団法人有恒会

2024年度（令和6年度）活動報告

1. 会員の状況（2025年（令和7年）3月31日現在）

（1）会員総数（連絡先不明者を含む）・・・59,814名（前年54,572名）

（2）会員数（連絡可能者）内訳

連絡可能者（正会員）			
	人数(名)	構成比(%)	対前年差(名)
旧制大阪高商・商学部・高商部 卒業の会員（前年1,038名）	1,031	2.6	△7
市大の商・経・法・文学部 卒業の会員（前年33,812名）	34,522	87.1	710
府大卒業の会員（前年208名）	3,945	10.0	3,737
他学部会員（前年124名）	124	0.3	0
連絡可能者 合計（前年35,182名）	39,622	100.0	4,440

（注）物故者連絡33名（前年35名）

2. 2024年度（令和6年度）活動の状況

（1）総務財務部会関係

【総務関係】

1) 一般社団法人化に伴う体制整備

①一般社団法人化の歴史のある神戸大学凌霜会事務局を訪問し、事業運営体制、事務局機能、入会手続きのWEB化、会員向け支援策等についてヒアリングを行い、体制整備の参考とした。

②未着手の各種規程を改定した。

（就業規則、給与規程、旅費規程、慶弔規程、役員規程他）

2) 大学並びに校友会に対する協力と支援

①総会その他行事で大学情報の提供や寄附募集活動に協力した。

②ビジネスアイデアコンテスト（ホームカミングデーの大学行事）に有恒会賞を提供した。

③出席要請のあった支部総会等に役員を派遣し、有恒会の現状報告を行うとともに、支部の会員各位と情報交換を行った（横浜、京滋、奈良、湘南、愛媛、南大阪、福井、神戸、北海道、東北、福岡、静岡、北摂、東京、富山、宝塚、千葉、大阪北、大阪南）

④海外支部対応につき校友会に情報提供等の支援をした。

⑤年度末に業務終了する市大全学同窓会の対応を推進した。

3) 会運営全体に関わる業務遂行

①2024年4月22日に2025年度第1回理事会、同10月24日に第2回理事会を開催した。

②2024年5月25日に社員総会を開催した。

4) 会員管理システムの整備と利用促進

①日常のデータ管理（新規、異動）を推進したが、クラブやサークルとの連携は個人情報の壁があり、今後の検討課題とした。

②大学が推進するOMU-Netへの情報登録について機会をとらえてPRした。

5) 大学、教育後援会等との連携

①大学の同窓会窓口（企画渉外課）と定期的な情報交換を行い、大学側が実施する同窓会・卒業生向け行事や主要施策をヒアリングするとともに、有恒会の事業活動に対する理解が得られるよう働きかけた。

②学生向けのイベント（下記事業部会関係参照）の開催にあたってはキャリア支援室と密に連携した。

- ③教育後援会と必要に応じて適宜コミュニケーションを図るとともに、OMUS A総会に出席した。

6)代議員任期満了に伴う選挙

- ①2024年12月27日に選挙管理委員会立ち上げ、2025年1月20日に代議員選挙を有恒会事務所および会員向けホームページにて告示し、2月4日から17日まで代議員候補者を受付け、3月11日から21日まで投票を実施した。
- ②3月24日に開票、当選者が決定し、3月25日に選挙結果を有恒会事務所および会員向けホームページに告示した。

【財務関係】

1)新入生向け終身会員制度の検討

- ①2025年春の入学手続きから入学金納付や同窓会入会手続きがWEB化されるに伴い、入学金納付→校友会入会→有恒会入会手続きまで一連の流れで途切れることなくできるようなシステム設計を、大学法人および校友会に要望した。
- ②入会手続きのWEB化に伴い、有恒会への入会率への影響が見えない中、新入生向け終身会員制度導入を、金額も含め、令和7年4月の理事会で決定するには不確定要素が多いと判断し、検討を継続する。
- ③今後、WEBでの入会手続き画面を確認するとともに、WEB手続きの中における有恒会入会メリットの訴求方法の検討等を進めていくこととする。

2)新入生の加入促進

- ①2024年度の加入率は77.3%と、前年度を2.7ポイント上回る高水準を維持した。
- ②「在学生と民間企業・公務員・教員OBOGとの交流会」を実施した。

3)あらゆる機会をとらえた会費納入促進

- ①「有恒」送付時をはじめ、イベントや個別の働きかけを実施しているが、効果は限定的であり、ホームページ上も含め、有恒会入会メリットを訴求していく必要性を痛感している。
- ②陵友会会員への有恒会会費納入の働きかけを実施した。
(2024年度は新規納入者77名、前年度納入者△83名)

4)経費削減対策

- ①日常経費の削減に取り組み、全体として予算内での支出を心掛けた。
- ②「有恒」の印刷費＋郵送経費は、見込み通り対前年で1,940千円削減した。
- ③2024年度予算では1,896千円の経常赤字としていたが、5,003千円の経常黒字となり、数年続いていた正味財産残高減少を食い止めることができた。

5)会費納入の状況

前年実績は大阪公立大学有恒会の令和5年4月1日から令和5年7月31日まで実績数値と一般社団法人有恒会の令和5年8月1日から令和6年3月31日までの実績数値の合計

①会費納入の状況

<合計>

	納入者数	納入率	増減数	増減率
会員納入者合計（前年 3,545名）	3,437	8.7	△ 108	△ 1.4

（納入者には終身会費納入者で収入勘定振替完了者166名を含む。）

<旧制、市大別内訳>

商大学部・高商卒（前年 37名）	30	2.9	△ 7	△ 0.7
市大卒（前年 3,278名）	3,186	9.2	△ 92	△ 0.5
府大卒（前年 208名）	202	5.1	△ 6	△ 94.9
他学部（教員含）（前年 22名）	19	15.3	△ 3	△ 3.1

（府大卒の会費納入率の低下は今年度会費未納者の会員登録 数3,737名による。）

<卒業年代別内訳>

商大学部・高商卒（前年 37名）	30	2.9	△ 7	△ 0.7
昭28～39卒（前年 392名）	339	10.8	△ 53	△ 1.5
昭40～49卒（前年 548名）	524	13.3	△ 24	△ 0.7
昭50～59卒（前年 561名）	531	13.0	△ 30	△ 0.6
昭60～平06卒（前年 295名）	292	6.9	△ 3	△ 0.1
平07～16卒（前年 92名）	92	1.8	0	△ 0.1
平17～26卒（前年 62名）	72	1.1	10	0.2
平27～令05卒（前年 1,328名）	1,336	18.2	8	△ 1.9

（卒業年代別内訳には他学部納入者は含まれていない）

令和6年度会員、会費実績（）内前年実績、前年対比

正会員 3,271名	(3,373名 97.0%)	16,355千円	(16,865千円 97.0%)
準会員 722名	(734名 98.4%)	7,220千円	(7,340千円 98.4%)
計 3,993名	(4,107名 97.2%)	23,575千円	(24,205千円 97.4%)

- ・会費収入は、前年通期比、2.6%（630千円）の減となった。
- ・会費収入の内訳では正会員（卒業生会員）が前年比3.0%（510千円）、及び準会員会費（令和6年度新入生会費）が1.6%（120千円）それぞれ減少した。
- ・今年度も高齢会員を中心に自主的な退会等が多く、会費納入者は大幅に減少した。（前年通期比で108名減少）
- ・次年度も会費未納者の掘り起こしとして、会費未納者に対して会報誌の送付のほか、各支部総会への出席者に対して、新たに有恒会会費者の特典を設けることで会費の納入の動機付けとしたい。

②会費納入促進活動

- ・有恒会費未納入者への納入依頼を継続実施。（会報誌送付他）
- ・各支部総会へ積極参加し会費未納会員へのアプローチを実施。
- ・有恒会総会、支部代表者会議等の場で会費未納会員へのアプローチを実施。
- ・令和6年3月卒業生に対し、会費納入依頼の基礎となる連絡先の把握、名簿整理推進

（2）事業部会関係

「会員相互の親睦」と「現役学生との交流」の2つの柱で活動を行った。

1) 会員相互の親睦と交流

①ビジネス交流会（第1回目）

開催日：2024年7月27日（土）

場 所：メディックスビル6階ホール 開催方式：対面&リモート

第一部：講演 現役学生が取り組む「起業」の極意とは！

・竹森洸征氏 大学院理学研究科物理学専攻1年

・村野元紀氏 大学院文学研究科地理学教室2年

第二部：グループ交流会

参加者：対面32名、リモート2名 計34名

内訳：市大24名、府大（前身校含む）3名、公立大学3名、その他4名

懇親会 24名

②ビジネス交流会（第2回目）

開催日：2025年1月25日（土）

場 所：梅田・文化交流センターホール 開催方式：対面

第一部：講演 講談とビジネス交流会のマリアージュ！何が生まれるか…

講談師 四代目玉田玉秀斎氏（大阪市立大学法学部卒業）

第二部：グループ交流会

参加者：48名 内訳：市大（院含む）33人、府大（院・前身校含む）13名、その他2名
懇親会 32名

③WPC女性部会の活動支援

- ・総会：2024年5月19日（土） さかい利品の杜 参加者19名
- ・交流会：2024年10月19日（土） 田中記念館 参加者23名

2)卒業生と現役学生との交流会

①公務員OBOGと公務員志望学生との交流会

- ・開催日：2024年7月6日（土）
- ・場所：高原記念館
- ・参加者：68名 内訳：公務員OBOG18名、学生47名、大学関係者等3名

②民間企業に勤める卒業生と現役学生との交流会

- ・開催日：2024年11月30日（土）
- ・場所：高原記念館
- ・参加者：48名 内訳：民間企業OBOG14名、学生31名、大学関係者3名

③中高教員として勤める卒業生と学生との交流会

- ・開催日：2024年12月23日（土）
- ・場所：田中記念館3階
- ・参加者：7名 内訳：高校教員OB2名、学生3名、大学関係者等2名

(3)広報会員部会

【広報関係】

1)2024年5月、ホームページ（HP）を全面リニューアル

- ①コンテンツを「有恒会について」「有恒会の活動」「支部等の活動」「入会案内」「会員専用サイト」に分類した
- ②トップページに時事性の高い「トピックス」とイベントを中心とした告知記事「お知らせ」を掲載し、更新頻度を高め、最新の同窓会関連の情報を発信する。
- ③分かりやすさを追求し、有恒会が開催する各種交流会を動画で配信することや、逍遙歌・桜花爛漫をはじめ市大愛唱歌6曲を歌詞と音楽で視聴できるようにした。
- ④アクセス回数は、月当たり1700回（前年比165%）。アクセス種別はPCが55%、スマホが45%。HP掲載と同時に発信しているFacebookからのアクセスが増加している。

2)有恒会の紹介リーフレット作成

有恒会の認知度を高め、理解促進のため、有恒会の紹介リーフレットを作成、交流会などのイベントや支部の紹介を行った。支部総会やイベントで活用。

3)OMU-Netへの登録推進

タイムリーな情報発信と通信費削減の一環として、大学の卒業生・在学生の個人情報登録システムであるOMU-Netへの登録推進をはかる。有恒会からの登録の願いは、3年間HPの「お知らせ」のトップに固定し掲載する。OMU-Netの活用により、有恒会会員への通信手段の電子化が推進でき、通信費の削減につなげる。

【会員関係】

1)正会員（会費納入者）の支部活動への参加補助制度を設定

- ①趣旨：正会員が支部総会などの支部主催イベントへの参加を促進することと有恒会会員メリットを提供及び有恒会入会者増を図る。
- ②概要：2025年4月1日以降、参加費2千円以上の支部イベントに参加した場合、参加費補助として2千円のクオカードを進呈する。ただし、申請は参加費2千円以上のイベントで年間1回とする。

2)支部のウェブメールを設定

これまで、支部への問い合わせは有恒会経由で行っていたが、卒業生が支部に直接連絡ができるウェブメールを設定し、有恒会及び校友会のホームページに掲載した。このメールアドレスは、HP等で公開すると同時にホームカミングデー開催など大学から支部への案内にも活用されている。

3)会費納入方法の利便性向上

従来のゆうちょ銀行振込に加え、クレジットカードやネットバンキングでインターネットから会費の納入をできるようにした。

4) 有恒会HPでの会報「有恒」閲覧制限

有恒会HPで公開していた会報を、会員専用サイトに移し会員だけが閲覧できるようにした。

(4) 有恒編集委員会

1) 2024年4月に「有恒vol.27」、同年10月に「有恒vol.28」を発行した。

「有恒」は年2回の発行だが、できるだけタイムリーな企画と読みごたえのある特集の掲載を目指した。

2) 「vol.27」では、大阪・関西万博に、大学と住宅メーカー飯田ホールディングスが我が国で初めて産学連携でパビリオンを出すことになったことから、両者のてい談を企画掲載した。

また3人の「世界に通じるプロフェッサー」、「企業のトップや社会で活躍するOB・OGの紹介」、7人の「卒業生の思い出」、15本の「学園だより」、理学部、生活科学部、陵友会を含めた9本の「同窓会ニュース」、全国15支部から寄せられた「支部だより」など、多彩な内容とした。

3) 「有恒vol.28」では、森之宮メインキャンパスの開設の目途も立ったことから巻頭特集で辰巳砂昌弘学長と校友会の岡本直之会長との対談を企画した。コーディネーターを現代システム科学研究科のハナムラチカヒロ准教授にお願いし、堺市の茶室に場を設けて、今後の大学の将来像ほか、忌憚のない和やかな対談となった。

このほか櫻木弘之新学長就任の一報も掲載、「世界に通じるプロフェッサー」を新進気鋭の素晴らしい先生も多数おられることから「世界に通じる研究者」にタイトルを変えて4人の研究者インタビューを行った。恒例の社長、OB・OG紹介、21本の「学園だより」、海外も含め全国13支部から寄せられた「支部だより」ほか、「論壇随想」や「同窓短信」「会員ひろば」など読みごたえのある内容となった。

3. 正味財産の状況

対前年比は大阪公立大学有恒会の令和5年4月1日から令和5年7月31日まで実績数値と一般社団法人有恒会の令和5年8月1日から令和6年3月31日までの実績数値の合計で対比し報告する。

(1) 経常収益

1) 「会費収入」は合計 23,575千円となった。

内訳は、正会員（卒業生）会費 16,355千円、及び準会員（令和6年度新入生）会費7,220千円となっており、予算対比510千円の増収となったが前年対比では630千円の減収となった。（正会員会費△510千円、準会員会費△120千円）

その他「会報広告料収入」等の合計で 3,143千円の収入があった。

2) 「経常収益合計」は26,719千円となり、予算対比559千円の増収となったが前年対比では545千円の減収となった。上記の通り「会費収入」の減少が「経常収益合計」の減少の要因となっている。

(2) 経常費用

1) 会報発行費は 6,041千円となり予算対比で1,795千円、前年対比で2,519千円それぞれ減少したが主な要因は会報誌の製本方法、紙質変更等により大幅な経費削減をおこなったことによるものである。

2) 「行事費」は2,296千円となり、予算対比 2,154千円、前年対比 2,629千円減少した。減少の主な要因は地域支部への支援及び支部代表者会議を取りやめたことによるものであり、そのほか在学生、大学等への活動支援を計画したが、在学生支援のほかは実施には至らなかったことによる。

3) 「管理費」合計は 13,225千円となり、予算対比、前年対比ともにそれぞれ 1,765千円、1,679千円減少となった。

内訳は人件費が予算対比164千円、前年対比259千円減少し、概ね計画通りであった。物件費は予算対比1,601千円、前年対比1,420千円減少した。減少した主な要因は、令和6年度

の複合機等のリースアップ機器を更新せず継続利用したこと（△510千円）、封筒等の印刷費（△287千円）、旅費交通費（△314千円）、雑費（△282千円）等の減少によるものである。

- 4) 「経常費用合計」は 21,716千円となり、予算対比で6,340千円、前年対比で6,673千円それぞれ減少した。
- (3) 「正味財産額」は 5,003千円増加し「正味財産期首残高」78,554千円を加算して「正味財産期末残高」は 83,557千円となった。

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	3,143	786	2,357
預金	107,445,045	99,959,417	7,485,628
貯蔵品	115	115	0
未収金	0	25,000	△ 25,000
流動資産合計	107,448,303	99,985,318	7,462,985
2 固定資産			
基本財産			
基本金引当金融資産	25,000,000	25,000,000	0
基本財産合計	25,000,000	25,000,000	0
その他の固定資産			
備品	4,979,553	4,209,553	770,000
備品減価償却累計額	△ 4,363,553	△ 4,209,553	△ 154,000
その他の固定資産合計	616,000	0	616,000
固定資産合計	25,616,000	25,000,000	616,000
資産合計	133,064,303	124,985,318	8,078,985
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	56,054	46,833	9,221
準会員前受会費	33,160,000	29,087,500	4,072,500
終身会費前受金	4,515,000	4,625,000	△ 110,000
前受会費	335,000	255,000	80,000
5年分前受会費	11,397,500	12,411,000	△ 1,013,500
社会保険料預り金	0	5,881	△ 5,881
仮受金	43,560	0	43,560
流動負債合計	49,507,114	46,431,214	3,075,900
負債合計	49,507,114	46,431,214	3,075,900
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	0	0	0
2 一般正味財産	83,557,189	78,554,104	5,003,085
(うち基本金)	25,000,000	25,000,000	0
(うち当期正味財産増加額)	5,003,085	△ 4,625,884	9,628,969
負債及び正味財産合計	133,064,303	124,985,318	8,078,985

正味財産増減計算書

令和6年8月1日から令和7年3月31日まで

「前年実績c」は一般社団法人有恒会の令和5年8月1日から令和6年3月31日までの8か月の実績数値となっている。

(単位：円)

科 目	予算額a	決算額 b	差異(b-a)	備考	前年実績c	差異(b-c)
I 一般正味財産増減の部						
1 経常増減の部						
(1)経常収益						
① 会費収入	23,065,000	23,575,000	510,000		11,085,000	12,490,000
② 利息・配当金	4,800	43,687	38,887		1,137	42,550
③ 広告料収入	2,980,000	2,850,000	△ 130,000		1,405,000	1,445,000
④ 雑収入	100,000	241,000	141,000		225,110	15,890
⑤ 寄附金	10,000	9,127	△ 873		3,700	5,427
経常収益計	26,159,800	26,718,814	559,014		12,719,947	13,998,867
(2)経常費用						
① 会報発行費	7,836,000	6,040,588	△ 1,795,412		4,775,727	1,264,861
② 行事費	4,450,000	2,296,479	△ 2,153,521		4,093,316	△ 1,796,837
③ 管理費	14,990,000	13,224,662	△ 1,765,338		8,476,788	4,747,874
(人件費)	6,660,000	6,495,571	△ 164,429		3,978,758	2,516,813
(物件費)	8,330,000	6,729,091	△ 1,600,909		4,498,030	2,231,061
④ 減価償却費	180,000	154,000	△ 26,000		0	154,000
⑤ 予備費	600,000	0	△ 600,000		0	0
経常費用計	28,056,000	21,715,729	△ 6,340,271		17,345,831	4,369,898
当期経常増減額	△ 1,896,200	5,003,085	6,899,285		△ 4,625,884	9,628,969
2 経常外増減の部						
(1)経常外収益	0	0	0		0	0
(2)経常外費用	0	0	0		0	0
当期経常外増減額	0	0	0		0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,896,200	5,003,085	6,899,285		△ 4,625,884	9,628,969
一般正味財産期首残高	78,554,104	78,554,104	0		83,179,988	△ 4,625,884
一般正味財産期末残高	76,657,904	83,557,189	6,899,285		78,554,104	5,003,085
II 指定正味財産増減の部	0	0	0		0	0
III 正味財産期末残高	76,657,904	83,557,189	6,899,285		78,554,104	5,003,085

ご参考

正味財産増減計算書

前年実績cは大阪公立大学有恒会の令和5年4月1日から7月31日までの決算額、及び一般社団法人有恒会の令和5年度決算額（令和5年8月1日から令和6年3月31日まで）の合算数値となってる。

(単位：円)

科 目	予算額a	決算額 b	差異(b-a)	備考	前年実績c	差異(b-c)
I 一般正味財産増減の部						
1 経常増減の部						
(1)経常収益						
① 会費収入	23,065,000	23,575,000	510,000		24,205,000	△ 630,000
② 利息・配当金	4,800	43,687	38,887		4,674	39,013
③ 広告料収入	2,980,000	2,850,000	△ 130,000		2,825,000	25,000
④ 雑収入	100,000	241,000	141,000		225,111	15,889
⑤ 寄附金	10,000	9,127	△ 873		3,700	5,427
経常収益計	26,159,800	26,718,814	559,014		27,263,485	△ 544,671
(2)経常費用						
① 会報発行費	7,836,000	6,040,588	△ 1,795,412		8,559,388	△ 2,518,800
② 行事費	4,450,000	2,296,479	△ 2,153,521		4,925,964	△ 2,629,485
③ 管理費	14,990,000	13,224,662	△ 1,765,338		14,903,876	△ 1,679,214
(人件費)	6,660,000	6,495,571	△ 164,429		6,754,830	△ 259,259
(物件費)	8,330,000	6,729,091	△ 1,600,909		8,149,046	△ 1,419,955
④ 減価償却費	180,000	154,000	△ 26,000		0	154,000
⑤ 予備費	600,000	0	△ 600,000		0	0
経常費用計	28,056,000	21,715,729	△ 6,340,271		28,389,228	△ 6,673,499
当期経常増減額	△ 1,896,200	5,003,085	6,899,285		△ 1,125,743	6,128,828
2 経常外増減の部						
(1)経常外収益	0	0	0		0	
(2)経常外費用	0	0	0		0	
当期経常外増減額	0	0	0		0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,896,200	5,003,085	6,899,285		△ 1,125,743	6,128,828
一般正味財産期首残高	78,554,104	78,554,104	0		79,679,847	△ 1,125,743
一般正味財産期末残高	76,657,904	83,557,189	6,899,285		78,554,104	5,003,085
II 指定正味財産増減の部	0	0	0		0	0
III 正味財産期末残高	76,657,904	83,557,189	6,899,285		78,554,104	5,003,085

財 産 目 録

令和 7 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	107,448,188		
現金手許有高	3,143		
普通預金銀行 7 行信金 2 行	79,614,113		
振替貯金	3,830,932		
定期預金信金 2 行地銀 1 行	24,000,000		
貯蔵品	115		
流動資産合計		107,448,303	
2 固定資産			
基本財産			
スーパー定期	25,000,000		
基本財産合計	25,000,000		
その他の固定資産			
備品（ホームページ所機能追加投資）	616,000		
その他の固定資産合計	616,000		
固定資産合計		25,616,000	
資産合計			133,064,303
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	56,054		
終身会費前受金	4,515,000		
前受会費	335,000		
5 年分前受会費	11,397,500		
準会員 5 年分前受会費	33,160,000		
仮払金	43,560		
流動負債合計		49,507,114	
負債合計			49,507,114
正味財産			83,557,189

財務諸表に対する注記

令和 7 年 3 月 31 日現在

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

備品の償却方法は、5 年間均等償却である。

2. 基本財産の増減額およびその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本金引当金融資産	25,000,000	0	0	25,000,000
合計（基本金）	25,000,000	0	0	25,000,000

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

備 品	
取得価額	4,979,553
減価償却累計額	4,363,553
当期末残高	616,000

監 査 報 告 書

一般社団法人有恒会
代表理事 岡 本 直 之 殿

令和7年4月9日
大阪市住吉区杉本3-3-138
一般社団法人有恒会

監 事 荒 鹿 哲 一 ㊞

監 事 一 柳 茂 ㊞

監 事 小 川 泰 彦 ㊞

監 事 坪 田 聡 司 ㊞

監 事 今 野 陽 子 ㊞

私たちは、一般社団法人有恒会の令和6年4月1日から令和7年3月31日までの令和6年事業年度の会務の執行、並びに財務諸表、すなわち、貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表の注記、財産目録について監査を行った。

監査の結果、会務の執行は、法令、一般社団法人有恒会の定款及び会則に従い、総会・代議員会及び理事会の決議に基づき誠実に執行されており、また上記の財務諸表は、一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準及び一般社団法人有恒会会則に従い、令和7年3月31日現在の財産の状態及び正味財産の増減を正しく示しているものと認める。

以 上

2025年度（令和7年度）活動計画書

大阪公立大学が誕生して4年目を迎え、来年3月にはいよいよ一期生が卒業する。今秋には森之宮キャンパスが竣工となり、それぞれのキャンパスでの整備も順調に進んでいる。各所で大学の注目度が高まり、大きな飛躍に期待が膨らむばかりとなっている。

有恒会は2023年度（令和5年度）に一般社団法人化し、体制の強化を図ってきた。今後も法に基づく団体として社会的信用力や透明性を高め、それに相応しい組織作りと運営を継続することにより人文社会科学系学部を纏める同窓会としての基盤を一層確かなものにしたい。また、伝統ある同窓会として持てるパワーを活用し、同窓生への情報発信や懇親の場の提供を行い、大学や学生への支援活動を継続することによって、大学のブランドカアップに一層の貢献をしたい。

大学や同窓会を取り巻く環境が変化し、会員の高齢化や会員数の減少という課題を抱える。先々の有恒会の姿を見据えて、諸課題の解決と活動の一層の活性化に取り組みたい。以下、本年度の基本的な取り組みについて説明する。

（1）同窓生への支援

- 1) 学部同窓会の立場で同窓会活動の原点である懇親の場の提供や各会の発展・拡充への支援を行う。
- 2) 同窓会報誌「有恒」を発行し、ホームページと合わせて、同窓生にとってより有益で分かりやすい情報を発信し、同窓生相互が情報交換できる環境を整える。
- 3) 有恒会を構成する各会への支援・協力を継続する。

（2）組織運営の強化

- 1) 将来に向けて運営の安定化を図る。
- 2) 広報活動を活発に行うことで知名度とブランド向上に繋げる。
- 3) 2025年度入学からWEBによる手続きが導入されたが、結果的に入会率が予想を越える低さになっており、その原因を分析すると共にあらゆる機会を通じて新入生に対する有恒会入会勧誘活動を実施する。

（3）大学・学生への支援

- 1) 大学と連携を密にして、その期待に応えるとともに、ブランドカアップに貢献する。
- 2) 学生への就職支援や卒業生との交流会を通じて将来のキャリアアップに繋がる機会を提供する。

（1）総務財務部会

【総務関係】

1. 総務関係

- 1) 大阪公立大学と校友会等に対する協力と支援
 - ① 大学が取り組む寄附活動に協力し、各種行事への参画および表彰制度への支援を行う。
 - ② 校友会を支える同窓会組織として積極的に協力する。
- 2) 会運営全体に関わる業務遂行
 - ① 定時社員総会を2025年5月31日（土）に開催する。
 - ② 支部との連携を維持拡大し活動へのサポートを行う。
 - ③ 商友会、経友会等、有力なステークホルダーの活動に協力する。
- 3) 会員管理システムの整備と利用促進
 - ① 会員管理システムの個人情報データを整備する。
 - ② OMU-Netへの加入促進を訴求する。
- 4) 大学、教育後援会等と連携
 - ① 渉外企画課と定期的に情報交換し、相互協力を図る。

②ホームカミングデー、ふたば祭、ボート祭等、大学主催行事に協力する。

5) 学生支援

①講演会開催や就職支援等の各種支援行事を行う。

②大学等の表彰制度に協力する。

6) 新入生加入促進の取り組み

①WEBによる入会手続きでの有恒会入会への訴求の在り方を分析・検討し、来年の入会率向上を目指す。

②未入会学生に対し機会を捉えて入会勧誘活動を実施する。

③方向性について総会承認を得た「新入生向け終身会員制度導入」については、次年度の入会率を見た上で判断する。

【財務関係】

1) あらゆる機会を捉えた会費納入への働きかけ

①各種イベント参加者、会報誌への投稿者、その他同窓会活動に関係する会員へ働きかける。

②支部総会、ゼミやクラブ・サークルのOB OG会へ働きかける。

③寄附・遺贈の促進を図る。

2) 事務局環境整備に向けた費用支出

①重要文書、個人情報管理に適した什器を導入する。

②情報システムの最新バージョンへの更新を行う。

(2) 事業部会

「会員相互の親睦と交流」と「現役学生のキャリア支援と交流」の2つの柱で活動を推進する。

1) 会員相互の親睦と交流

・ビジネス交流会

(第1回目：2025年8月2日(土)、第2回目：2026年1月31日(土))

主に現役ビジネスパーソンを対象にした交流会 グループワーク実施により相互の交流を深める。

2) 現役学生のキャリア支援と交流

公務員、教員、民間企業勤務の卒業生と現役学生との交流を進め、また卒業生間の交流を深める。

同時に、学内関係部署と連携し、現役学生のキャリア支援に協力する。

①公務員OB OGと現役学生との交流会(2025年6月28日(土)開催予定)

近畿圏内の国家・地方公務員のOB OGの参加により、幅広い公務職種の状況把握を通じて現役学生の就職支援活動を行う。

②民間企業勤務の卒業生と現役学生との交流会(11月29日(土)開催予定)

幅広い経済領域の民間企業勤務の卒業生の参加により、職業選択に迷う学生のキャリア支援を行う。また、スタートアップなど起業化支援の分野も今後探る。

③教員OB OGと現役学生との交流会(12月下旬開催予定)

中高等学校教員のOB OGの参加により、教職の持つ意味合いを学生と共有し、教職への進路選択の支援を行う。

(3) 広報会員部会

【広報関係】

1) リーフレットの更新

2024年度の活動実績に基づき、最新の有恒会紹介パンフレットに更新する。

2) HPでの訴求力向上

アクセス解析を通じて、閲覧者が有恒会HPに求める情報を整理し、より効果的な情報発信を行う。

【会員関係】

1) 会員数の拡大・維持のため、支部への活動参加補助金制度の周知を行う。

2) イベントなどの機会に、リーフレットを活用し有恒会入会者増を図る。

(4) 有恒編集委員会

令和7年度では4月に「有恒vol.29」を、10月に「有恒vol.30」を発行する。大阪公立大学開学4年目を迎え、同窓会会報誌「有恒」はさらに市大、府大の同窓生、在学生、大学と相互連携を図り、同窓生同士の交流や会費納入の促進、会員増強、さらには在学生、大学への支援を高めていくための情報発信の柱の一つとして、今後も大学や同窓会の動向などを幅広く掲載、同窓生、在学生のニーズに応えられる紙面を目指す。

- 1) SNSの普及で情報発信ツールが多様化しているものの、紙媒体ならではの訴求力はネット社会にこそ必要と言え、今後も引き続き持続可能な会報誌発行を目指し、制作経費の削減や他学部同窓会への支援強化、大学への協力要請などに取り組み、コンパクトで訴求力のある会報誌を追求する。
- 2) 「有恒vol.29」の巻頭特集は今年4月に新学長に就任された櫻木弘之先生と同窓で東大寺別当の橋村公英師の対談を掲載。「世界に通じる研究者」や「社長紹介」「OB・OG紹介」、9人の卒業生の「大学の思い出」のほか、理学部・生活科学部同窓会、陵友会通信など1ページで掲載、17の支部から寄せられた「支部だより」など、100本近い多種多様な記事をコンパクトに収め、一覧性の効果を高め波及力強化に努めた。
また今回は大学の新聞部「Hijicho」に所属する現役学生を含む6人が編集委員として編集作業に参加、今後も現役学生とタッグを組んで新鮮な感覚で会報誌発行に取り組む。
- 3) 制作経費削減については、27号から会報誌の体裁・紙質、字体の大きさ、減ページを図っており、引き続き削減に努める。
- 4) 今年10月に発行する「有恒vol.30」においても更なる誌面の充実をする一方、コンパクト化を図ることとする。

令和7年度 一般社団法人有恒会正味財産増減計算書予算案

(単位：円)

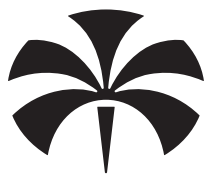
科 目	予算額a	前年実績b	差異 (a-b)	備考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①会費収入	18,900,000	23,575,000	△ 4,675,000	
②利息・配当金	72,000	43,687	28,313	
③広告料収入	2,800,000	2,850,000	△ 50,000	
④雑収入	100,000	241,000	△ 141,000	
⑤寄附金	10,000	9,127	873	
経常収益計	21,882,000	26,718,814	△ 4,836,814	
(2) 経常費用				
①会報発行費	6,300,000	6,040,588	259,412	
②行事費	2,580,000	2,296,479	283,521	
③管理費	16,140,000	13,224,662	2,915,338	
(人件費)	7,080,000	6,495,571	584,429	
(物件費)	9,060,000	6,729,091	2,330,909	
④減価償却費	1,002,000	154,000	848,000	
⑤予備費	600,000	0	600,000	
経常費用計	26,622,000	21,715,729	4,906,271	
当期経常増減額	△ 4,740,000	5,003,085	△ 9,743,085	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 4,740,000	5,003,085	△ 9,743,085	
一般正味財産期首残高	83,557,189	78,554,104	5,012,295	
一般正味財産期末残高	78,817,189	83,557,189	△ 4,740,000	
II 指定正味財産増減の部	0	0	0	
III 正味財産期末残高	78,817,189	83,557,189	△ 4,740,000	

理事監事候補

以下の通り、理事・監事に選任する。
(任期は2027年度定時社員総会終了まで)

(2025年5月31日、最終学歴卒年・アイオウエオ順)

理事/監事	氏 名	大学・学部	卒年
理事	古川 弘成	市・経	1969
理事	岡本 直之	市・商	1970
理事	諏訪 頼久	市・理	1970
理事	宮川 庄一	市・経	1970
理事	塚本喜左衛門	市・経	1971
理事	北村 吉文	市・経	1973
理事	津戸 正広	府・経修	1973
理事	藤山 純一	市・法	1976
理事	藤野 正純	市・商	1976
理事	亀井 信吾	市・商	1977
理事	栗原 政二	府・経昭	1977
理事	花井 健	市・商	1977
理事	木滑 和生	市・商	1979
理事	頓花 修二	市・商	1979
理事	宮崎 朗	府・経	1979
理事	梅村 晋一	市・法	1980
理事	米田 昭子	市・文	1980
理事	金村 福寿	市・商Ⅱ	1981
理事	阪井千鶴子	市・法	1982
理事	相良 暁	市・商	1983
理事	滋野 公彦	市・経	1984
理事	福田新之助	市・都	2013
監事	坪田 聡司	市・商	1984
監事	一柳 茂	市・商	1974
監事	今野 陽子	府・経	1977
監事	小川 泰彦	市・商	1978



大阪公立大学